



北海道大学

令和3年度 北大フロンティア基金 活動報告書

Hokkaido University Frontier Foundation
Annual Report 2021



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

目次

Contents

総長ご挨拶	P03
エルムの森プロジェクト	P04
実施事業報告① 新型コロナウイルス 関連事業	P05
実施事業報告② 奨学金給付事業	P06
実施事業報告③ その他実施事業	P07
北大フロンティア基金 令和3年度の概要	P08
寄附メニューのご案内	P10
寄附申込方法	P14
税制上の優遇措置	P15
顕彰制度・謝意のご報告	P15
高額寄附者の皆様への御礼について	P16
創基150周年記念事業	P18
遺贈について	P19



「公共財」としての 北海道大学に向けて ——ご寄附のご報告と御礼——

北海道大学総長 寶金清博

平素、北大フロンティア基金に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

本来、ご寄附いただいた皆様に対して、お一人お一人、ご挨拶、ご報告に伺うべきところですが、その機会を得ることは難しいことです。そこで、この活動報告書を作成しましたので、ご一読いただければ幸いです。

皆様のおかげで、北大フロンティア基金は、令和3年度も総額4億円余りに達し、平成18年度の創設からこれまでの累計で、約58億円に達しました。心から御礼申し上げます。

特に令和3年度は、メディアでも注目された歴史的建物を未来へつなぐ「北海道ワイン教育研究センター」のための特定資金の寄附枠、「エルムの森プロジェクト」に対して、多くのご支援をいただいたことに感謝申し上げます。事業の規模が大きく、私たちの努力が足りないところもあり、まだ目標額には遠いところですが、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

大学は現在、大きな改革の時期にあります。その最大の理由は、国際競争の中で日本の研究力が低下し続けている点です。研究力低下の理由は様々ありますが、最大の理由として、財務の脆弱性が指摘されています。世界の研究の場で競争できる人材を生み出す基盤強化が必須ですが、この数十年余り、日本の大学の研究基盤への公的投資は伸び悩んできました。

この財務強化に関しては、国も様々な施策を展開しており、研究基盤の急速な強化を目指しています。これに加えて、大学の自主的な財務基盤の強化の大きな柱の一つが、寄附金による基金形成です。

ただ、私は、皆様と大学の関係で最も大切なことは、私たちの大学の社会的使命を理解していただき、そのために必要な事業に共感いただくことだと考えています。特に、国立大学法人は、一定程度の国の支援を受けている「公共財」です。卒業生、関係者ばかりでなく、地域の住民、企業などから、知の拠点として、無くてはならない存在であることが前提となっています。

2026年には、北海道大学は創基150周年を迎えます。この記念すべきマイルストーンの年に向けて、更に、皆様の共感を得られるような、「公共財」としての大学の活動を拡げて参ります。今後とも、本学への変わらぬご支援を、心よりお願い申し上げます。

エルムの森プロジェクト

▶ 北海道産ワインの教育研究拠点

「エルムの森プロジェクト」は、エルムの森に佇む札幌キャンパス最古の歴史的建造物である「旧昆虫学及養蚕学教室」および「旧昆虫学標本室」を保存改修し、北海道ワイン教育研究センター棟として再生利用することで、そのレガシーを未来のキャンパスへつなぐ事業です。

北海道では近年、ワインの生産が盛んになり、この10年間でワイナリー数は約3倍の53か所になりました。北海道におけるワイン産業は、今後も大きく発展するものと思われます。ワイン産業振興のための研究開発と人材育成のためには、生産者や研究者、経済産業界等の多様な人材が集積する「場」が必要です。そこで、北海道産ワインの研究やプロモーション、人材育成を目的とした「北海道ワイン教育研究センター棟」を設置するため、本学の歴史的建物である旧昆虫学及養蚕学教室および旧昆虫学標本室を保存改修し、活用することにしました。耐震補強工事を含む改修費用は約3億円で、国庫から1億円の補助を獲得しましたが、改修資金が不足しております。

北大フロンティア基金では、令和4（2022）年3月より本プロジェクトを実施し、多くの皆様から本プロジェクトにご賛同いただき応援メッセージも承っております。本学の歴史的建造物の価値を100年後の未来に継承するために、ぜひ皆様のお力添えをお願いします。

▶ ご寄附の御礼

1万円以上10万円未満でマルチクロスを1枚（デザインお任せ）、10万円以上でレザートレイをお届けします。

20万円以上では、北大農場伝承の製法で作られたハム・ソーセージと余市果樹園のリンゴを原料としたシードルを、札幌キャンパスや研究林の樹で作製した木箱に詰めた「都ぞ弥生」セットをお届けします。1口20万円で1セットとしておりますので、40万円でご寄附いただいた場合は2セットのお届けとなります。

100万円以上ご寄附いただいた場合には、「北海道ワイン教育研究センター棟」内の銘板へご芳名を掲載させていただきます。

▶ ご寄附の方法

専用の振込通知書をご利用いただく場合は、ゆうちょ銀行・郵便局、または銀行でお手続きください。北大フロンティア基金のウェブサイトから、クレジットカードやインターネットバンキング決済でもご寄附いただけます。

ご寄附、返礼品についての詳細は特設ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードのページ内から特設サイトへアクセスできます。



旧昆虫学及び養蚕学教室



改修後の建物イメージパース



「都ぞ弥生」セット



エルムの森プロジェクトのサイト

新型コロナウイルス関連事業

▶ コロナ禍における学生への食料・生活支援

令和3（2021）年6月、7月に、新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト収入が減るなど経済的に困窮した学部学生、大学院生、外国人留学生およびその家族を対象とした食料・生活支援を実施しました。実施にあたっては、東洋水産株式会社、エースコック株式会社に協賛いただき、日本学生支援機構の「新型コロナウイルス感染症対策助成金事業（「食」・「住」に対する支援）」から100万円の助成を受けたほか、北大フロンティア基金から120万円を充当させていただきました。

6月は、札幌キャンパスで1,000人、函館キャンパスでは「どうなん若者プロジェクト」と合同実施し100人、7月は、札幌キャンパスで外国人留学生およびその家族75人を対象に、米、即席麺およびレトルトカレー等の食品、マスク等生活用品を配布しました。



令和3（2021）年6月4日 函館キャンパス食料支援



令和3（2021）年6月25日 札幌キャンパス食料支援



令和3（2021）年7月2日 札幌キャンパス食料支援（外国人留学生家族帯同者）

感謝の声

- コロナ禍でバイトのシフトが減って収入が減少している中、本当にありがたい支援でした。周りの方々に支えられていると言う事を忘れずに、コロナ禍に負けずに苦しい状況を乗り越えていこうと思います。本当にありがとうございます。（総合教育部学部1年）
- 留学生です。アルバイトが減っている今の時期に食料品をいただき、心から感謝しております。大変助かりました！（文学院修士課程2年）
- 現在、奨学金のみで生活しています。このような形で食料支援をしていただき大変助かりました。まわりの方々に支えられているんだ、という気持ちを忘れずにこれからも学業に励んで参りたいと思います。本当にありがとうございます。（水産科学院博士課程1年）
- アルバイトが減ってとても困っていたので、お米やカップ麺等、一食になるものがいただけてとても嬉しいです。ありがとうございます。（国際感染症学院博士課程4年）

奨学金給付事業

▶ 新渡戸カレッジ支援

新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院教育コースの履修を許可された学生の高度な専門性とそれを活用する能力の一層の育成を奨励することを目的とした、返済義務のない給付型奨学金を支給させていただきました。

感謝の声

この度は、奨学金を授与いただき本当にありがとうございました。私自身、家庭の事情で修学を諦めることも検討しておりましたので、この度の授与が生活環境改善に大きく繋がり、無事修学を続けることができおり本当に感謝しております。新渡戸カレッジの学習目標でもあるグローバルリーダーとして活躍できるように、この度のご厚意を存分に活用して、自分の学習活動に一層打ち込んで行く所存でございます。また、将来本基金や新渡戸カレッジに寄附者もしくはメンターとして貢献できるような人材となり、将来の後輩育成に携わっていく形で、この度のご厚意を還元できればと考えております。重ねてお礼申し上げます。 豊田 章一郎



I would like to thank the respected Frontier Foundation sponsors from the bottom of my heart for selecting me as a recipient for the Nitobe Scholarship. After receiving the scholarship, my quality of life has improved considerably and I have been able to allocate more time to towards my classes and career instead of focusing on my part-time job. I was able to get a Scuba Diving License using a part of the funds and this will aid me in getting better samples for my research and kickstarting my career. Once again, I am grateful to the sponsors for this opportunity and will do anything I can in order to promote Nitobe College so that students will continue to have this opportunity in the future as well. Rajagopal, Ranjan



▶ 小島三司奨学金

大学の元職員である故小島三司氏の遺志に基づき、アルツハイマー病を研究する大学院学生に対し、奨学金を給付することにより、研究活動の充実を図り、医学の進歩に寄与することを目的として、平成 26（2014）年度に創設された返還義務のない給付型奨学金であり、受給者には、年額 60 万円が給付されます。

令和 3（2021）年度は、工学院から 1 名、生命科学院から 2 名の推薦があり、審査の結果、推薦のあった 3 名を本奨学金の受給者として決定しました。

感謝の声

この度受給した小島三司奨学金は、日々の生活を送るための重要な資金とさせて頂きました。私は生命科学院に所属し、アルツハイマー病治療法の開発を目指した研究を行っています。アルツハイマー病は高齢社会を迎える国々において重大な問題となりつつある疾患です。博士課程に進学し、本疾患とじっくり向き合い、研究に没頭することが出来たのは、偏に、安定した生活を送ることが出来た為と考えています。本奨学金の目的である、アルツハイマー病研究活動の充実と分野の進歩について、少しでも貢献する事が出来るよう、研究に邁進したいと思います。 改めまして、本奨学金を通じてご支援くださった皆様へ、心から感謝申し上げます。 齋藤 遙



その他実施事業

▶ 北大・日立協働教育研究支援プログラム

令和 2（2020）年度より、博士課程の学生を対象とした総額最大 1.4 億円規模の給付型奨学金を支給する研究支援プログラム「北大・日立協働教育研究支援プログラム」を実施しています。本プログラムが支援対象とする研究テーマには環境技術も含まれ、世界が直面する環境課題の解決に貢献することが期待されています。

本プログラムは、本学博士課程に在籍する最大 9 名の学生を対象に、一人当たり年間 520 万円を支給するもので、令和 3 年度は博士課程 4 名（令和 2（2020）年度に採択された博士課程 2 名、令和 3（2021）年度に採択された博士課程 2 名）に対し、株式会社日立製作所から奨学金及び研究費（400 万／人）、本学から研究費（120 万／人）を支給しました。



▶ DEMOLA プログラム

DEMOLA^{※1} プログラムは 4 課題（4 企業）、31 名の学生が参加し、うち、本学産学・地域協働推進機構の提示した課題「シン・フロンティアスピリッツ」に対しては、定員上限の 8 名が受講しました。

本課題は、VUCA^{※2} 時代において重要となるアントレプレナーシップ（起業家精神）の基となる、「自発性」「創造性」といった現代の「シン・フロンティアスピリッツ」を、北海道から世界へ発信・発揮させるために必要な、仕組みや環境、人財を問題提起したものです。

参加者からは、特に「学生目線で、当事者として考える」ことを強く意識した、当事者だからこそ立案できる、本音や欲求を起点としたアイデアが提案されました。

2 か月のプログラム期間を経て作成した約 100 ページに及ぶ提案書と令和 3（2021）年 12 月 11 日に実施した最終発表会の内容をもとに、令和 4（2022）年 1 月 14 日には賛金総長をはじめとする本学役員と意見交換を行い、アントレプレナーシップの醸成に繋げることができました。

実施にあたっては、北大フロンティア基金から DEMOLA プログラム参加費用として 200 万円を充当させていただきました。

- ※1 DEMOLA（デモラ）はフィンランド生まれの産官学連携イノベーション創出プラットフォームであり、世界 16 カ国、60 以上の大学が参加している国際的な企業課題解決ネットワークです。本学は 2018 年に日本で初めてこの取組を導入しました。
- ※2 VUCA（ブーカ）Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity の頭文字を取った造語で、社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況を意味する。



北大フロンティア基金「令和3年度の概要」

北大フロンティア基金は、本学の創基 130 年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成 18（2006）年 10 月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動を行うこととしています。

北大フロンティア基金創設時からの累計

申込件数 **32,664 件**
 寄附金額 **5,998,662,603 円**
 （うち運用利息 191,330,769 円）

受入報告 令和3年度

申込件数 **3,639 件**
 寄附金額 **427,495,049 円**
 （うち運用利息 26,474,934 円）

支出状況

一般資金 24,338(千円)

特定資金 151,576(千円)

特定資金の内訳

学生支援	45,302(千円)
留学生・国際交流支援	3,132(千円)
卒業生・産業界等との連携支援	499(千円)
学部等支援	64,135(千円)
全学経費	11,988(千円)
新渡戸カレッジ支援	3,400(千円)
修学支援	20,721(千円)
クラーク記念財団からの承継分	1,500(千円)
ポスドク等研究者支援	800(千円)
その他	100(千円)
合計	151,576(千円)

合計
175,914(千円)

受入状況

寄附金額(令和3年度)

一般資金 549件 38,907(千円)

運用利息 26,475(千円)

特定資金 3,090件 362,113(千円)

特定資金の内訳

学生支援	721件	59,189(千円)
研究支援	63件	8,337(千円)
社会貢献活動支援	45件	2,105(千円)
学部等支援	867件	240,255(千円)
施設・環境整備支援	78件	8,678(千円)
新渡戸カレッジ支援	69件	5,252(千円)
修学基金	349件	20,233(千円)
ポスドク等研究者支援基金	13件	15,332(千円)
その他	1件	100(千円)
留学生・国際交流支援	883件	2,627(千円)
卒業生・産業界との連携支援	1件	5(千円)
合計	3,090件	362,113(千円)

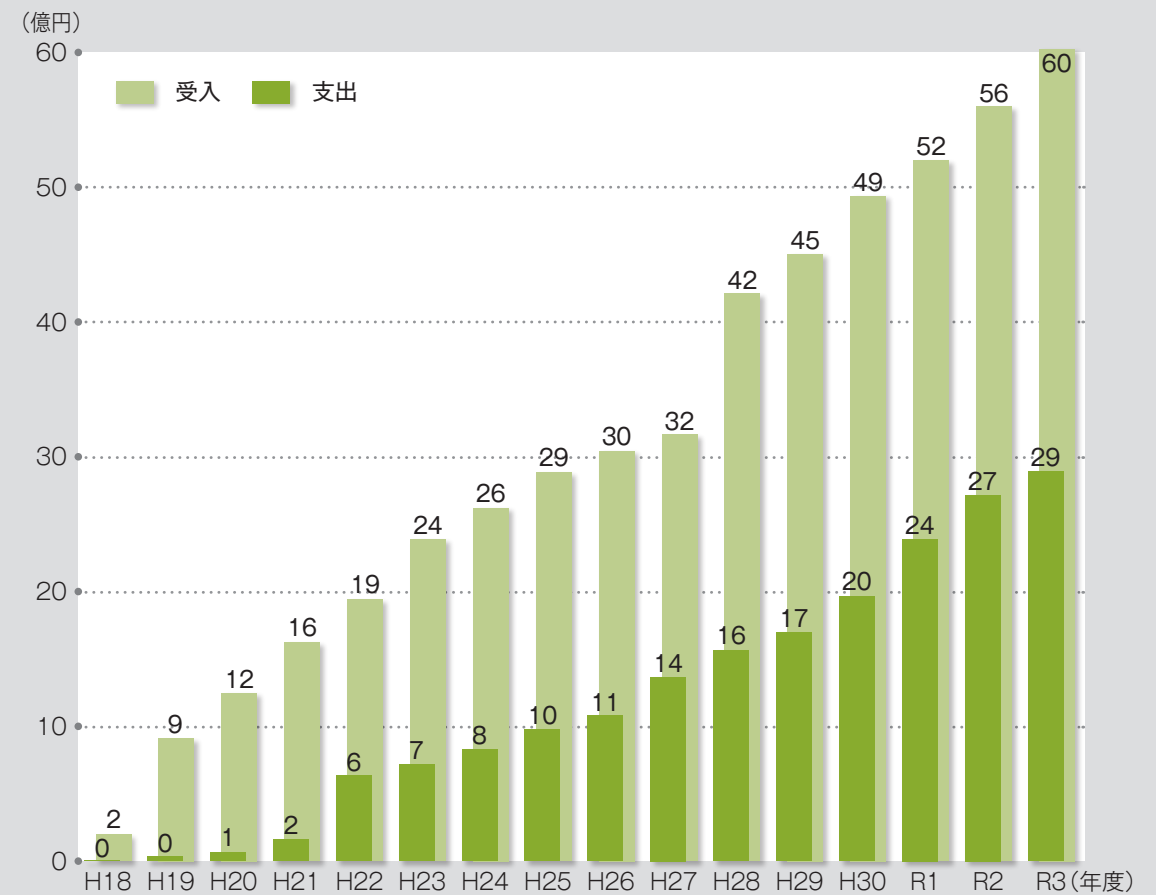
合計
3,639件
427,495(千円)

寄附者別内訳(令和3年度)

卒業生	1,281件	112,306(千円)
教職員	1,312件	21,667(千円)
元教職員	75件	26,591(千円)
新入生・在学生	466件	9,731(千円)
法人等	173件	159,590(千円)
その他	332件	71,135(千円)
運用利息		26,475(千円)

合計
3,639件
427,495(千円)

受入・支出累計額の推移



令和3年度末 残額 3,133,121,737円

※上記、受入・支出累計額には、運用利息を含みます。

寄附メニューのご案内

▶ 一般資金（使途を限定しないご寄附）

「一般資金」は、使途を特定せず、全学的かつ持続的な研究・教育環境の充実のための安定的な独自財源を確保することを目的としており、北大フロンティア基金による事業活動を行うための原資として、単独または本学の他の資金と併せて使用し、北大全学の発展に役立てます。

▶ 特定資金（使途を限定したご寄附）

「特定資金」は、グローバルな人材育成、学部・研究院単位の研究活動、多様な人材育成に必要な課外活動施設の整備、修学が困難な学生への修学支援など、特定の使途をもった事業にご寄附いただくものです。令和3年9月現在、下記のプロジェクトを実施しております。

◆ 特定資金一覧

学生支援	学部における学業成績優秀者等を対象とする「新渡戸賞」、研究者を目指す優秀な女子学生を対象とする「大塚賞」、英語等の成績優秀者を対象とする「レーン記念賞」などの顕彰制度の更なる充実や、課外活動支援、学生福利厚生施設の充実を図ります。
新渡戸カレッジ支援	グローバル社会で活躍できるリーダーの育成を目指す特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」では、学部生を対象とした学部教育コースにおいて、本学の同窓生等をフェローに委嘱し、学生のキャリア教育に参画させるとともに海外留学や国際インターンシップ等を積極的に支援しております。また、大学院教育コースでは、全学をあげて、グローバル社会で活躍できる高度な専門知識と国際感覚を持った人材を育成しています。賜りましたご寄附は、国際交流や海外留学を積極的に支援するために活用させていただきます。
国際連携支援	多様な国・地域・組織の人々と連携・協働して世界の課題解決に貢献し、豊かな未来社会をつくる原動力となることを目標として、国際連携に関する事業への支援を行います。
研究支援	本学では、研究者の自由な発想に基づき世界の課題解決のための研究が日夜行なわれています。しかし、地道な基礎研究にはなかなかスポットライトが当たらず、研究費の確保に苦労しています。本学では、そんな研究者の支援に基金を活用していきます。 また、男女共同参画を推進するとともに、多様な人材が活躍できるようダイバーシティ研究環境の充実を図ります。
社会貢献活動支援	自然・文化・歴史・科学・技術に関する学術研究と教育成果の公開、更に地域活性化に貢献します。開かれた大学の使命として、学術研究と教育成果の公開促進、市民公開講座等の充実を図ります。例）植物園・総合博物館の充実、図書館の充実、市民公開講座等の充実 等
卒業生との連携支援	卒業生同士の交流や新たな出会いの機会創出、北海道大学と卒業生との関係強化を図ります。具体的には、北大卒業生向けインターネットサービス@ Frontier（アットフロンティア）の提供、ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。
産業界との連携支援	北海道大学の教育研究環境を活用し、より多くの企業等と共同で、いろいろな課題を解決するための実践的な研究・活動の強化等、産業界との連携強化を図ります。賜りましたご寄附は、校友会館の整備や産学連携各種プログラムの支援のために活用させていただきます。
学部等支援	学部等支援では、ご支援いただける「学部（大学院）」や「学科（専攻）」または「研究室（講座）」を選ぶことが可能なご寄附です。みなさまからいただいたご寄附は、各学部・大学院等の教育研究の充実のための最新の教育機器や学術図書・雑誌等の充実整備を図ります。また、教育や研究に係る特定のプロジェクトを支援いたします。

施設・環境整備支援

昭和初期までサケが遡上していたというサクシュコトニ川が流れている中央ローンをはじめ、構内全体が樹木や芝生など緑に溢れた環境に配慮した、魅力あるキャンパスを有しております。また札幌農学校第2農場をはじめ古河講堂、旧昆虫学及養蚕学教室等の歴史的建造物が多数あり、これらの自然環境や歴史的建築物を後世に伝える取組を積極的に行っております。

修学支援基金 （税額控除対象）

修学支援基金とは、経済的な理由により修学できなかったり、希望するプログラムを受講できない学生を支援するために創設された基金です。北海道大学では、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう、みなさまからの修学支援基金へのご支援をお願いしています。みなさまからのご寄附は、意欲ある学生の未来のために、有効に活用させていただきます。

ポストク等研究者支援 （税額控除対象）

学生または不安定な雇用状態にある研究者（ポストク等研究者）が安心して研究を続けられるよう、ポストク等研究者支援事業を創設しました。

▶ 北大みらい投資プログラム

「北大みらい投資プログラム」は、同窓生の皆様を中心とする「個人からのご寄附」により、在学生の様々な活動をサポートすることを目的として、平成30（2018）年に北大フロンティア基金の中に創設されました。

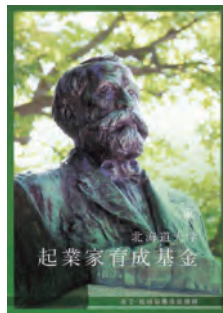
使途は、同窓生の皆様に在学生のサポートをお願いしたい4つの分野「給付型奨学金」「海外留学・インターンシップ等経費」「課外活動等支援資金（公認学生団体等を指定）」「使途指定資金（支援先任意※）」で構成されております。
※支援先未記入の場合は「海外留学・インターンシップ等経費」にて受け入れさせていただきます。

▶ 北海道大学起業家育成基金

産学・地域協働推進機構では、アントレプレナー（起業家）教育を一層充実させるため、令和元（2019）年度「北海道大学起業家育成基金」を創設しました。

本基金へいただいたご寄附は、アントレプレナー教育の充実を図り、北大発ベンチャー支援のために使用します。産業界を中心として広く募集し、アントレプレナー教育・育成事業の充実やアントレプレナーに係る学生プロジェクト・大学発ベンチャー設立等スタートアップへの支援など、様々な支援を行い、イノベーションの創出を目指します。

札幌市が進める札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会とも協力して、大学発スタートアップによる「大学の知」を社会に還元していきます。



▶ 特定プロジェクト

◆ 令和4年度新規プロジェクト（令和4年8月時点）

● ウクライナ国籍学生等への支援

本学では、このたびのロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、同国における教育・研究活動の中断を余儀なくされているウクライナ国籍を有する学生を、研究生などの身分で一定期間受け入れる場合において、受入研究科・学院等を通じ、学生の受入れの推進、及びこのほか経済的なサポートを必要とする学生への補助を行うこととしました。支援の実施にあたっては、更なる財源の確保が必要となって参ります。そこで継続的なサポートを行うための財政基盤として、北大フロンティア基金の枠組みの一つである「学生支援」基金を立ち上げました。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

● 北海道大学工学部フロンティア資源・エネルギー研究棟の施設整備支援

フロンティア資源・エネルギー研究棟においては、各研究室が利用する研究スペースに加えて、次世代環境ラボ・共用試料ストレージ・バイオ資源工学ラボなど、最先端の教育・研究に資するための多くの共同利用ゾーン、また、資源教育の国内外ネットワークをフルに活用するためのIT化された会議室などを配置しています。教育・研究で利用する実験設備や備品のほとんどは、現在使用中の設備・什器を使用する予定ですが、新たに整備する共用ゾーンのための最先端設備や堅牢な会議システム等については、資源系部門で独自に購入・整備する必要があります。

フロンティア資源・エネルギー研究棟を、日本の将来を担う学生たちの活動の場として相応しいものとするために、同窓生ならびに本事業の趣旨に賛同いただける皆様からのご芳志を募らせていただくこととなりました。何卒、ご支援とご協力を賜りたく、心からお願い申し上げます。

● 北海道大学工学部創立 100 周年記念事業基金

本学初のノーベル賞受賞者・名誉教授 鈴木章先生に代表される工学の歴史は、100 年の歳月を経ながら脈々と受け継がれ、令和 6（2024）年に大きな節目を迎えます。次の 100 年に向けてその時々を担う有為な人材をこれからも数多く輩出するため、博士学生に対する奨学金制度の整備・充実をはじめ、いくつもの特色ある記念事業を展開いたします。現教職員ならびに同窓生の皆様はもとより、たくさんの方々のご賛同・ご支援を心よりお願い申し上げます。

◆ 継続中のプロジェクト

● エルムの森プロジェクト

エルムの森プロジェクトは、エルムの森に佇む札幌キャンパス最古の歴史的建造物である旧昆虫学及養蚕学教室および旧昆虫学標本室を保存改修し、北海道ワイン教育研究センター棟として再生利用することで、そのレガシーを未来のキャンパスへつなぐ事業です。

これらの歴史的建造物は、今でもキャンパスの一角を美しく彩っていますが、現在の耐震基準を満たしていないため、建物内で人が活動することができません。本プロジェクトでは、創建時の建築意匠を丁寧に読み取り、オリジナルの建物部位を可能な限り保存・補修・復元しようと計画しています。

本学の歴史的建造物の価値を 100 年後の未来に継承するため、ぜひ皆様のお力添えをお願い申し上げます。（エルムの森プロジェクトの詳細は、P04 をご参照ください。）

● 先端生命科学研究院

本研究院は、専任教員数こそ学内で最少ですが、生命科学の基礎分野に関連する専門研究者たちが強い結束のもとに集まった研究教育組織です。「新たな研究は、新たな志をもった人によって作り出される」という考えの下に、「志」をもった人材を育て、新しい融合生命科学を発展させることを目指しています。

学術研究の推進および教育・人材育成の充実と発展を目的として、企業、団体や個人の皆様からの寄附をお願いしております。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

● 水産学部学生応援プロジェクト

北海道大学水産学部は、創基から 110 余年にわたり、水産・海洋関連分野で活躍する人材を多数輩出してきました。これからの学生の学びの環境を維持し、さらに充実させるためには、①老朽化した水産学部図書館と水産科学館（旧水産資料館）を合築・新営、②オンライン教材の充実による時間と場所を選ばない学修環境の整備、③水産学部特有の教育の象徴となる練習船おしよ丸・うしお丸への支援の支援が必要であるため、応援プロジェクトを立ち上げることといたしました。ご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

● 衛生工学・環境工学教育基金

本学工学部環境工学コースは、昭和 32 年に日本初の環境工学を教育研究する学科である衛生工学科として開設以来、国内外の衛生・環境問題の解決と改善に貢献する約 3,000 名もの人材を輩出してきました。環境工学コースでは、全国より環境工学を学ぶ意欲の高い学生を募り、より一層充実した教育研究環境の中で豊かな学生生活を送ってほしいと考えております。このため、令和 4（2022）年度より新入試制度（フロンティア入試タイプⅡ）を導入するとともに奨学金給付を開始し、さらに学部教育用設備の更新や博士後期課程に進学する学生への経済的支援にも着手しました。これらの取り組みにより学生達の夢や可能性を広げ、環境工学コースの社会貢献を拡充したいと考えております。つきましては、この趣旨にご理解いただき、ご賛同いただける皆様におかれましてはご支援・ご協力を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

● 北海道大学理学部創立 100 周年記念事業基金

昭和 5（1930）年に開学した本学理学部は、令和 12（2030）年に創立 100 周年を迎えます。そこで、基礎科学の普遍的な価値を次の世代に継承し深化させることを目的とした「北海道大学理学部創立 100 周年記念事業基金」を設けました。理学部で学ぶ学生の学習環境を整備し、若手研究者のキャリア形成、および未来の人財育成の場を広げる機会を設けるなど、さらに 100 年先を見据えた多彩な取り組みを行います。令和 12（2030）年 9 月 27 日（創立 100 周年記念日）までの募金目標金額は 5,000 万円です。ご支援ご協力を何とぞお願い申し上げます。

● 北大病院新型コロナウイルス安全安心基金

日頃より、北大病院を温かくご支援いただいておりますこと、感謝申し上げます。現在、本院においては、新型コロナウイルス感染症対策、がんや難病の診療を含む地域の医療機能維持のため、まさに不眠不休の努力を行っております。

このような中、患者の皆様が安心して本院で診療を受けられるよう、また、本院の医療従事者が安心して診療にあたれるよう、新型コロナウイルス感染症対策に特化した基金を設立することとしました。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 北の森林（もり）プロジェクト

北方生物圏フィールド科学センターでは、本学研究林（北の森林）を舞台として、森林の樹木や動植物、それを取りまく環境・地域社会について幅広い教育・研究活動を行っています。

その中で、森林が持つ環境保全のはたらきや、資源の有効活用など、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の多くの目標に貢献することを目的に、森林の再生、二酸化炭素の吸収、生物多様性・生態系の保全活動をする「北の森林（もり）プロジェクト」を創設しました。本学が進める森林の教育・研究活動にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

● 附属図書館

学生が自ら学ぶ力を伸ばすため、附属図書館の学術図書をより豊かにする基金へのご協力をお願いしております。

学生の本分である「学び」には、学術図書が不可欠です。日々進展する学術、科学技術を習得し、フロンティア精神を育てるためには、豊富な学術図書を使って存分に学べる環境が必要です。整備した学術図書は附属図書館の蔵書となり、学生の学びを支える知識基盤として、今後も長く活用され続けます。

● 北大病院ゆめ募金

北大病院は、設立以来一貫して「良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献する」を理念として、地域の皆様や社会の要請に応えるため多様な医療を提供してきました。

昨今、求められる医療の内容はめまぐるしく変遷しておりますが、本院では、将来にわたり最先端の医療を提供し続けるとともに、将来の医療を支える人材を育成するため、引き続き、医療環境の充実を図ります。

※新型コロナウイルス対策について支援いただける場合は「北大病院新型コロナウイルス安全安心基金」をご選択ください。

● 北大工学部 鈴木章記念事業

本学名誉教授鈴木章先生（元工学部教授）がノーベル化学賞を受賞されたことを機に、これまで以上に国際競争力のある卓越した教育研究拠点となることを目指して、若手研究者や学生の研究活動への援助、学生の国際交流活動への援助、優秀な学部学生の表彰など本学工学部の国際化をより一層推進するための教育・研究環境の充実を図ります。

寄附申込方法

▶ 郵便振替・銀行振込によるご寄附

個人 法人・団体

北大フロンティア基金の「払込取扱票（振込通知書）」をご利用ください。

● ゆうちょ銀行・郵便局（口座振替・現金による払込）

口座振替による「払込手数料」は、本学が負担いたします。現金による払込の場合は、本学が負担する払込手数料とは別に、現金利用時の加算料金として、1件あたり110円が寄附者様のご負担となります。詳しくは、ゆうちょ銀行・郵便局窓口でご確認ください。

● 銀行振込

銀行窓口をご利用の場合は、振込金額とは別に振込手数料を寄附者様にご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

北洋銀行・北海道銀行の窓口をご利用の場合は、振込金額に関わらず振込手数料として、1件あたり110円を寄附者様にご負担いただきます。

なお、現金自動預金支払機（ATM）やネットバンキングをご利用の場合は、寄附者様の特定が困難となりますので、できる限り金融機関の窓口をご利用いただくか、お手続き前に、北大フロンティア基金ホームページ掲出の「寄附申込書」にご記載の上、メール、FAX または郵送でお送りください。

▶ クレジットカード決済によるご寄附

個人 法人・団体

クレジットカード決済でお申込いただいた場合は、ご指定のカードにて自動引き落としをさせていただきます。寄附回数は、「毎月」「年2回」「年1回」「1回限り」から選択いただくことができます。

▶ コンビニ決済によるご寄附

個人 法人・団体

コンビニ決済でお申込いただいた場合は、後日、決済代行業者より、コンビニエンスストア収納用のバーコード付払込取扱票を送付いたします。お手元に届きましたら、お近くのコンビニエンスストアに払込取扱票をご持参いただき、現金にてお支払い下さい。

◆ 北大フロンティア基金寄附申込ページはこちらから

個人の方



法人・団体の方



税制上の優遇措置

▶ 個人からのご寄附

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金（所得税法第78条第2項第2号）として財務大臣から指定されております。

① 所得税が控除されます。

寄附金額（その年の総所得金額の40%を上限）から2,000円を引いた額を、所得税の課税所得金額から控除できます。

「修学支援基金」及び「ポストク等研究者支援」にご寄附の場合は、右記の「所得控除」または「税額控除」いずれか一方の有利な制度をご選択いただけます。

② 住民税が控除されます。

寄附をした翌年1月1日に本学を「寄附金税額控除対象法人等」として指定している地方自治体にお住まいの方は、寄附金額（その年の総所得金額の30%を上限）から2,000円を引いた額に対し、都道府県民税は4%、市区町村民税は6%を乗じた額が控除されます。（都道府県と市区町村双方の指定を受ける場合は10%となります。）

● 寄附金控除を受けるための手続き等について

寄附金控除を受けるためには、所轄の税務署へ所得税の確定申告書を提出してください。

この場合、住民税の申告は不要です。確定申告をしない給与所得者又は年金所得者で、住民税の寄附金税額控除だけを受けようとする場合は、住所地の市区町村に申告してください。この場合、所得税の控除は受けられません。

▶ 法人によるご寄附（法人税の優遇）

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されております。ご寄附をいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

税控除のしくみ

所得控除制度（北海道大学へのすべての寄附金が対象）

所得控除を行ったあとに所得税率を乗じるため、所得金額に対して寄附金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

$(\text{寄附金額}_{※1} - 2,000 \text{ 円}) \times (\text{所得に応じた税率}) \rightarrow \text{所得税額から控除}$

税額控除制度（「修学支援基金」及び「ポストク等研究者支援」への寄附金が対象）

所得税率に関係なく所得税額から直接寄附金額の一定割合額が控除されるため、多くの場合、所得控除制度に対して減税効果が大きくなります。

$(\text{寄附金額}_{※1} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = \text{控除対象額}_{※2} \rightarrow \text{所得税額から控除}$

▶ ※1 控除対象となる寄附金額は、その年の総所得額等の40%が上限となります。
▶ ※2 所得税の控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。



寄附金控除シミュレーション

顕彰制度・謝意のご報告

▶ 寄附者銘板への掲示について

北大フロンティア基金では、ご寄附を賜りました個人・法人の方のうち、ご希望いただいた方のご芳名を刻印した銘板を掲出しております。累計20万円以上で本学百年記念会館（令和2年度以前にご寄附の方は本学総合博物館）に、累計500万円以上で本学総合博物館に掲出させていただいており、令和3年度末までに累計2,055枚となりました。



銘板の掲出の様子（百年記念会館）



銘板の掲出の様子（総合博物館）

▶ 寄附者懇談会について

例年行っておりました寄附者懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を見合わせてまいりましたが、今後は開催する予定です。詳細が決まりましたら対象となる皆様へご案内させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

高額寄附者の皆様への御礼について

北大フロンティア基金へご寄附を賜りました皆様へ、感謝の気持ちをお伝えさせていただきました。この場を借りまして、改めて深く感謝申し上げます。

〔 紺綬褒章の伝達 〕

北大フロンティア基金へのご寄附に対しまして、内閣府が授与いたします紺綬褒章の授与候補者として本学よりご推薦申し上げ、閣議において授与が決定された後は、総長より伝達させていただきました。

※カッコ内の日付は贈呈日



谷澤敏允 様、和子 様 ご夫妻
(令和 3 年 10 月 14 日)



アジア航測株式会社
代表取締役社長 小川紀一郎 様
(令和 3 年 10 月 14 日)



株式会社ムトウ
代表取締役副社長 松本利光 様
(令和 3 年 10 月 20 日)

※紺綬褒章は、公益のために私財（個人の場合 500 万円以上、法人の場合 1,000 万円以上）を寄附した者に国から褒章を授与する制度であり、国及び地方公共団体の他に指定された「公益財団」も対象となります。本学も「公益団体」として指定を受け、平成 29（2017）年 11 月以降の対象者に対し、ご意向を伺い推薦を行っているものです。

〔 感謝状の贈呈 〕

累計 100 万円以上のご寄附を賜りました個人・法人の皆様へ、感謝状を贈呈させていただきました。

本学事務局や東京オフィスのほか、こちらからご自宅や社屋へお伺いし、本学への想いや後輩学生を応援いただくお言葉をたくさん頂戴いたしました。

※カッコ内の日付は贈呈日



日本甜菜製糖株式会社 様
(令和 3 年 5 月 7 日)



北海道ガス株式会社 様
(令和 3 年 5 月 14 日)



アジア航測株式会社 様
(令和 3 年 10 月 14 日)



一般財団法人北海道河川財団 様
(令和 3 年 10 月 15 日)



株式会社ムトウ
代表取締役副社長 松本利光 様
(令和 3 年 10 月 20 日)



土屋 努 様
(令和 3 年 12 月 1 日)



大地みらい信用金庫 様
(令和 3 年 12 月 6 日)



株式会社北洋銀行 様
(令和 3 年 12 月 7 日)



石山 喬 様
(令和 3 年 12 月 21 日)



土屋 裕 様
(令和 3 年 12 月 22 日)



一般財団法人
砂防・地すべり技術センター 様
(令和 4 年 1 月 12 日)



尾北 紀靖・真理 様 ご夫妻
(令和 4 年 2 月 2 日)
真理様ご欠席



三井不動産株式会社 様
(令和 4 年 4 月 22 日)



北大全学教育基礎科目教科書
『地球惑星科学入門』著者一同 様
(令和 4 年 4 月 26 日)



草野作工株式会社 様
(令和 4 年 4 月 27 日)



中川 洋 様
(令和 4 年 5 月 11 日)



行政書士事務所みなかたパートナーズ 様
(令和 4 年 5 月 13 日)



宮脇 敬・慶子 様 ご夫妻
(令和 4 年 5 月 16 日)
慶子様ご欠席



特定非営利活動法人北海道エコビレッジ
推進プロジェクト 様
(令和4年5月17日)



伊藤組土建株式会社 様
(令和4年5月19日)



株式会社 OHEN 様
(令和4年5月20日)



株式会社学生情報センター 様
(令和4年5月24日)



加藤 元 様
(令和4年5月26日)



工藤 寛 様
(令和4年5月27日)



大家 邦久 様
(令和4年7月22日)

お写真をご掲載させていただいた皆様のほか、ご郵送させていただきました皆様のご芳名も掲載させていただきます。

五十嵐秀也 様	石井 清一 様	岩崎 公彦 様	川崎 勝 様
近 祐次郎 様	下斗米啓介 様	内藤 亨 様	中村 雅夫 様
藤田 寿 様	本田 直之 様	増山 邦彦 様	矢ヶ崎啓一郎 様
山崎 知文 様	湯泉 隆一 様	萬 豊 様	
栄研化学株式会社 様		一般財団法人協済会 様	
医療法人社団小林皮膚科クリニック 様		積水化学工業株式会社 様	
北海道漁業協同組合連合会 様		北海道厚生農業協同組合連合会 様	

創基 150 周年記念事業

北海道大学は、令和8(2026)年に創基150周年を迎えます。
「光は、北から」を合言葉に、創基150周年事業を進めてまいります。
光が三原色から成り立つように、Sustainability、Innovation、そしてDiversityの3つのテーマを一丸となって推進することで、より明るい社会の実現を目指します。「北から新しい世界を作っていく。」その新しい決意のもと、本事業を進めて参ります。皆様の温かいご支援をお願い致します。

▶ DIVERSITY ～多様性にひらかれた教育・研究の場へ～

人種や国籍はもちろん、年齢や性別、そしてライフスタイルまで、すべての個人の尊厳が守られ、ひとりひとりが誇りを持って前に進むことができる大学へ。北海道大学は多様性を尊重し、豊かな共生の在り方を実現するための挑戦をはじめています。

▶ SUSTAINABILITY ～150年先の未来を守るために～

北海道大学は「THE インパクトランキング2022」において世界第10位、「SDGs 飢餓」の項目においては第1位を獲得しています。次の150年へ向けてSDGsの達成と、地域社会・世界への貢献へ向けて、挑戦を続けて参ります。

▶ INNOVATION ～世界の課題解決へ向けて～

北海道を課題先進エリアから、課題解決先進エリアへ。北海道大学は、世界に誇る先端的な研究にさらに磨きをかけ、新しい価値創造の一步を踏み出しています。

遺贈について

▶ 遺贈とは

近年、人生の集大成の社会貢献として、遺贈寄附にご関心を持つ方が増えています。大切なご自身の財産を誰に託すのかを、遺言により遺すことができ、親族に限らず特定の人や団体に財産を寄附することを「遺贈」といいます。

遺言は、民法で定める法定相続に優先しますので、具体的に遺言の受取人を指定することにより、ご希望に沿うことができます。財産の一部の受取人として本学を指定することができます(ただし、一定の相続人に必ず残さなければならない「遺留分」の制約がありますのでご注意ください)。なお、本学への遺贈による寄附の相続税は、非課税となります。

本学では、下記の銀行・信託銀行と協定を結んでおりますので、お気軽にご相談ください。記載されている各銀行・信託銀行本支店に直接お問い合わせいただく際には、北大フロンティア基金のホームページをご覧ください。

このほか、遺贈に関するお問い合わせは北海道大学社会共創部広報課卒業生・基金室までご相談ください(連絡先: 本冊子裏表紙に記載)。

▶ 北大フロンティア基金が提携している信託銀行

●三井住友銀行 ●三井住友信託銀行 ●三菱UFJ信託銀行 ●北洋銀行

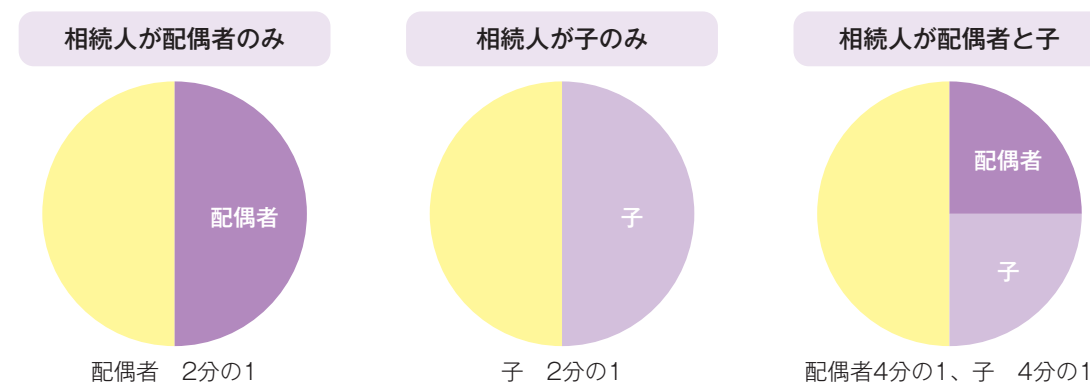
▶ 法的に有効な遺言書を作成ください

代表的な遺言の方式には、公証役場で証人が立ち会って公証人に口述筆記させる「公正証書遺言」、遺言者が全文を自筆で作成し署名押印する「自筆証書遺言」があり、それぞれ特徴があります。本学への遺贈をご検討されている方には、「公正証書遺言」をお勧めしております。

なお、自筆証書遺言でも、信託のおける専門家にご相談の上作成し、保管・執行を依頼するなどの対応をあらかじめいただくことで、北大フロンティア基金への遺贈を確実に実現することができます。

▶ 遺留分にご注意ください

遺言書の内容に関わらず、兄弟姉妹以外の法定相続人には「遺留分」として財産の一定割合を受け取る権利が法律によって保障されています。将来、円滑に本学への事業等へ活用させていただくため、遺贈をお考えの際は相続人の遺留分にご配慮の上、慎重にご検討ください。



北大フロンティア基金では遺贈をご検討いただいている皆様に、パンフレットをご用意しております。ご希望の際は「卒業生・基金室」にご連絡ください。
また、北大フロンティア基金のホームページからも資料請求のお申し込みができます。

お問合せ
資料請求



▶ 表紙写真について（旧昆虫学及養蚕学教室）

旧昆虫学及養蚕学教室は明治 34（1901）年、昆虫分類学の礎を築いた松村松年先生が、甚大な農作物の被害をもたらす害虫の駆除方法を確立することで、北海道農業の明日を拓こうと昆虫学の教育研究に没頭した場所として知られています。松村先生ら先人たちの熱い思いと努力によって、北海道農業は目覚ましい発展を遂げ、日本の食料基地と称されるまでに発展しました。

当時から 120 年の時を経て、旧昆虫学及養蚕学教室は今もなお当時の姿で本学札幌キャンパスの一角を美しく彩り、登録有形文化財として原風景を今に遺しております。

北海道大学は、百年以上に及ぶ大学の発展と共にあったこれらの歴史的建造物を再生し、新しい時代を担う教育・研究の場として活用しようと考えています。
（詳細：P04 のエルムの森プロジェクト）

北海道大学 社会共創部広報課 卒業生・基金室

〒060-0809 札幌市北区北 9 条西 6 丁目 北海道大学 百年記念会館内

TEL 011-706-2017 **FAX** 011-706-2010

E-mail kikin@jimu.hokudai.ac.jp

Web <https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

● 北海道大学 東京オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 7-12 サビアタワー 10 階

TEL/FAX 03-3211-2055

